

Case Study

支部ケース・スタディ

東北支部

東日本大震災から10年。 宮城ケーブルの現況と今後

宮城ケーブルテレビ(株)

常務取締役
加藤 雄一



はじめに

宮城ケーブルテレビ(株)は、宮城県のほぼ中央に位置する塩釜市にあり、太平洋の仙台湾に面した港町です。また、志波彦神社・鹽竈神社の鳥居前町として発展した歴史があります。

現在、塩釜市の人口は5万4,000人。水産業が盛んで生マグロの水揚げ、蒲鉾など魚肉練り製品の生産は日本一です。また、1平方キロメートルあたりの寿司屋店舗数が人口あたり、日本一多い町でもあります。



鹽竈神社 表門



毎年7月「海の日」に行われるみなと祭

宮城ケーブルテレビ(株) これまでの歴史

宮城ケーブルテレビ(株)は平成2年2月に設立し、平成4年4月に塩釜市の出資を受けサービスエリアを塩釜市内全域として開局しました。

平成5年には宮城県七ヶ浜町、平成7年には宮城県多賀城市・利府町、平成21年には松島町・東松島市・大郷町へエリアを拡張しました。また、同年8月にはイオンタウン塩釜ショッピングセンター内にサービスセンターを設置しました。

平成22年には、NTT東日本様との協業サービスを開始し、エリアを仙台市・石巻市・名取市と拡大しました。同年6月には、社名を塩釜ケーブルテレビ株式会社から宮城ケーブルテレビ株式会社に変更しました。愛称は「マリネット」です。

平成23年3月、東日本大震災の津波被害により、放送センター内に設置して在りましたヘッドエンドが浸水、また、七ヶ浜地区一部伝送路も流失、イオンタウン塩釜ショッピングセンター内サービスセンターも被災しました。

このような中、職員は被災状況の取材を続け、その後この記録映像が「日本ケーブルテレビ大賞番組アワード」で

「報道特別賞」を受賞することになりました。

平成28年10月には、事務機能を塩釜市港町1丁目に移転。事務所としての業務を開始し、作業の効率化に努めております。



平成28年に完成した事務所

また、令和3年4月で開局30年を迎えました。これを記念しまして、『日本人として初めて世界一周した人たち』の記念番組を制作しました。



『若宮丸～壮大な地球規模の郷土史』

サービス業務及びサービスセンター

令和3年10月にリニューアル工事が完成したイオンタウン塩釜サービスセンターショールームでは、総合窓口としてお客様対応全般を行っています。

各種手続き・料金支払対応のほか、テレビの配線やネット回線に関する問合せ等を受け、迅速に担当者へ繋ぎ、快適にサービスをご利用頂けるよう努めています。

また、格安スマホを利用されているお客様から、スマートフォンの使い方や活用方法についてご相談いただくこともあります。

新しい技術を学び、日々の生活に生かしたいという前向きな姿勢のお客様との交流に、我々スタッフも刺激を受けています。

既存のお客様だけでなく、新たに関心を持って下さったお客様への「こんな番組が見たい」、「ネットを使ってこんなことをしたい」等お客様の要望に耳を傾け、希望に沿ったご提案ができるよう努めております。



イオンタウン塩釜サービスセンター受付窓口



10月開催の大感謝セール(イオンサービスセンター内)



大感謝セール(イオンサービスセンター内)。ケーブルテレビコーナーお客様対応

伝送路・ヘッドエンドの改修強靱化計画

震災から10年が経過し、現在既存の伝送路及びヘッドエンドの改修計画を進めております。

震災時、供給電源装置が故障し長期間停波、お客様に多大なるご迷惑をかけたことがあり、塩釜市内伝送路電源装置の改修工事を行いました。この工事は、総務省放送ネットワーク整備支援事業費補助金の交付を受け、行いました。

今後は、現在、本社事務所に設置しておりますヘッドエンドを、尾島町本社から港町事務所に移設する計画を進めております。

また、塩釜市内国道45線においては電線共同化が進んでおり、国道の整備事業に伴い伝送路関係はFTTH化を進めております。防災・減災に資するネットワークの強靱化を一層進めるとともに、通信による動画配信サービスを視野に、より一層のお客様サービスの向上に努めていきます。